

即応体制を強化 金沢デポ・仙台デポが稼働 ～自社配送エリアを拡大し、物流網の最適化を図る～

「ともに、未来を切拓く」をパーパスに掲げる株式会社山善（本社：大阪市西区／代表取締役社長：岸田貢司 以下、当社）は、2024年3月8日より金沢デポ（石川県白山市）を、2024年3月22日より仙台デポ（宮城県仙台市）を稼働しました。主に現場に即納が必要な機械工具類を在庫するとともに、路線便に頼らない自社配送エリアを拡大し、物流網の最適化を図ります。



「金沢デポ」（画像左）と「仙台デポ」（画像右）の倉庫内の様子

当社は、2023年1月に、LMS（統合物流管理システム）・WMS（倉庫管理システム）を導入し、当社物流資産を事業部横断でシェア運用（物流 CROSSING）した「岡山デポ※」を稼働しました。これにより、自社配送エリアの拡大並びに、より幅広い商品の即納体制の強化を実現しました。

そしてこのたび、「岡山デポ」に続き、「金沢デポ」と「仙台デポ」を稼働しました。「金沢デポ」は新設となり、「仙台デポ」は元々、住建事業部のみの物流拠点だったところを、生産財事業の拠点としても活用します。両拠点とも、主にツール&エンジニアリング事業部の切削工具、測定機器、作業工具などの機械工具類を在庫し、小規模配送拠点として活用します。各拠点の在庫アイテム数は、「金沢デポ」が約4,000、「仙台デポ」が約5,000となっており、それぞれ、石川県・富山県・福井県の主要都市と、宮城県仙台市・山形県山形市のエリアにおいて、当日配送を実現します。また、路線便に頼らない自社配送エリアの拡大やリードタイムの短縮など、サービスレベルの向上を図ります。

当社は今後も地域密着型の小規模配送拠点である「デポ」を増やすことにより、短距離配送を実現しつつ「2024年問題」に対応するほか、「輸配送時のCO2削減」などにも注力していきます。

※:旧名称は「ロジス岡山」です。

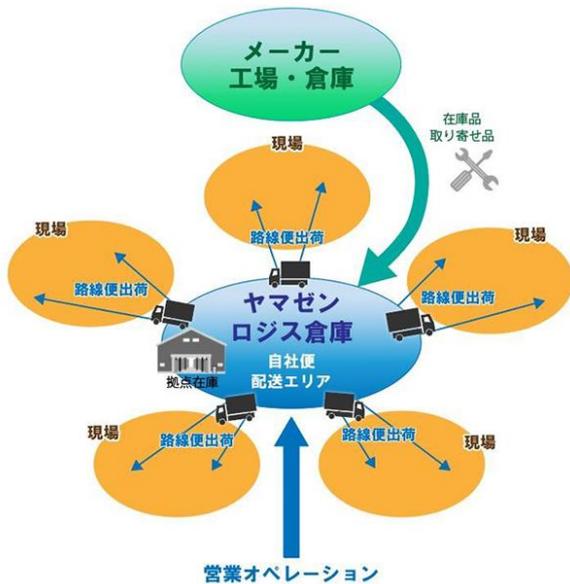
<当社の物流システムについて>

当社は引き続き、大規模配送拠点を「ロジス」、地域密着型の小規模配送拠点を「デポ」と呼称し、物流網の最適化を図っていきます。

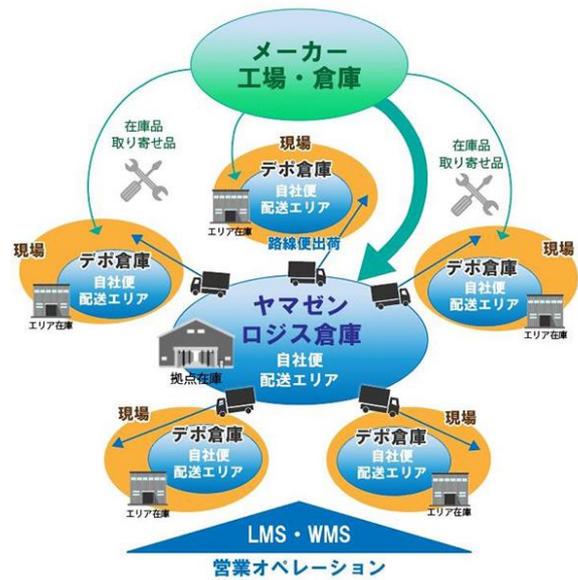
◆路線便に頼らない自社配送エリアを拡大◆

「2024年問題」の対応、輸配送コストの抑制
 当日/翌日配送エリアの拡大、サービスの向上
 エリア需要に応じた適切なる分散在庫

従来のシステム



今後のシステム



<施設概要>

名称	ヤマゼンロジスティクス株式会社 金沢デポ (ツール&エンジニアリング事業部)
物件名	株式会社浜庄運輸 西部倉庫
所在地	〒924-0801 石川県白山市田中町 294-1

名称	ヤマゼンロジスティクス株式会社 仙台デポ (ツール&エンジニアリング事業部・住建事業部)
物件名	SBS 三愛ロジスティクス株式会社 物流センター宮城 第2
所在地	〒983-0034 宮城県仙台市宮城野区扇町 7丁目 3-33

今後も当社は、パーパスである「ともに、未来を切拓く」のもと、世界のものづくりと豊かなくらしをリードしてまいります。

※ ニュースリリースの内容は発表時のものです。

閲覧いただいている時点では内容が異なっている場合がありますのでご了承ください。

(お問合せ窓口) 株式会社 山善 広報・IR室 担当 尾藤
 電話 090-9873-6745
 E-mail : info07@yamazen.co.jp